

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスLiebe常普請（第二単位）		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日		令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27人	(回答者数) 17人
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 1日		令和7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	進学・就労に向けたサポートをしている	コミュニケーションを深めるための活動 集団の中での動きや距離の取り方を知る機会の提供 各児童の進路希望のヒアリング 学習サポート	正しい言葉遣いや客観的視点から見た人間関係の構築を目指した支援 親御様からのヒアリングをもとにした発達上での課題の設定
2	パソコンの活動を取り入れている	将来に向けたスキルアップの向上 パソコンへの興味を持てるような環境づくり 児童の技能レベルに合わせた課題の選定 外部との連携や外部講師による活動の提供	外部講師と密に相談を重ね、適切な活動や計画を実施していく 子ども達の作品等を保護者や外部へ発表する機会を設ける
3	1階と2階に分かれている	活動スペースと学習スペースの区別ができていて 子どもたちがリラックスできる部屋の設定（リラクゼーションルーム）	学習と余暇時間の切り替えができるような環境づくり 環境を活かした上での更なる支援の向上

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員不足による十分な支援が出来ていない場面がある	人員不足 送迎の工夫 職員間での密な連携	デバイスを用いた連絡手段の活用 送迎時間の変更 他店舗との連携 保護者様・教育機関への依頼・連絡
2	パソコンやスマホ等デバイス上でのトラブル	ネット上で他人との繋がりを深めたり、かつ他者へ自身の写真や動画を公開している児童がいる キャッシュレス決済等の使用により金銭管理が適切でなくトラブルに陥るリスクが高い	施設で個人デバイスの預かり 来所時に個人のデバイスを使用しないように声掛けを行う ネットリテラシーにおける理解度をさらに深めるために支援を行う 危機管理能力を身に付けてもらえるような声掛けを日々継続していく
3	思春期・反抗期にあたる児童たちへの適切な支援 子どもたちの個々の主張のぶつかり合いによる口論トラブル	その時期ならではの子どもたちの心や体の発達状況を理解した上での、適切な言葉かけや人間関係の構築の方法などの伝授が不十分 子ども達のアイデンティティを大切にしながら、発達レベルに合わせた支援をさらに深めていく	家庭連携を深めながら、保護者様の意向や願いを踏まえたうえでの支援の提供 児童本人から職員へ相談できる機会を増やし、個々の悩みや課題について一緒に解決を目指すための関わりを行う 日々の活動の中で子ども達に自分と他者との違いについて知ってもらう機会を作る 自分中心的な解釈でなく、他者理解を深めることの重要性を伝え、社会性を養っていく